

Peace Now!21

#6 折り鶴が届ける平和への願い【後編】

暑さも厳しくなってきたと思ったら、もう7月ですね。8月15日の終戦の日に向かって世間では平和を考える活動がさらに活発になったり、テレビなどでも第二次世界大戦関係の番組が増えることと思います。そのような時期ですから、平和に目を向けてみるにはよい機会です。

「Peace Now!21」第6回の今回は、先月に引き続き広島からお送りします。平和のために一人一人ができること、考えてみませんか？

Peace Now Hiroshima

これは生協で行われる平和企画の一つ。昨年度も全国から多くの学生などが参加し、8月4日～7日の4日間、広島の街で平和について学び・考え・交流しました。私もこの企画に参加し、初めて広島を訪れました。そこでは、今まで知識としてしか知らなかった「戦争」に初めて触れました。たくさんの人に出会いました。そして、平和について初めて真剣に考えました。この4ページを通して、広島で学んだ事感じた事を少しでもみなさんに伝える事ができたら幸いです。

基本情報

広島への原爆投下

1945年8月6日朝8時過ぎ、広島に投下された原子爆弾は地上580mで目もくらむ閃光を放って炸裂し、中心部は摂氏100万度を超える火球を作った。火球は1秒後には最大直径250mとなり、爆心地表面の温度は3000~4000度にも達した。強烈な熱線と放射能、周囲の空気が膨張したことによる超高圧の爆風は広島市に大きな被害をもたらした。

当時広島には35万人前後の人がいたと考えられている。そこには朝鮮などから強制的に徴用された人々や、外国人の留学生、捕虜なども含まれる。原爆によって死亡した人の数は1985年12月までの段階で約14万人(±1万人)と推計されていることから、3分の1以上の方が亡くなった事になる。その後も放射線の影響で多くの方が後遺症に悩まされたり、亡くなったりしている。

その後、広島平和記念都市建設法に支えられ、広島の復興は行われ、1958年には人口も戦前の42万人まで回復した。現在は「国際平和文化都市」も都市像にかかげ、「平和都市」として世界恒久平和の実現に向けて取り組んでいる。



原爆や、広島での平和活動・施設等についてもっと詳しく知りたい人は広島平和記念資料館のwebサイトをご覧ください。

HIROSHIMA PEACE SITE
広島平和記念資料館WEB SITE

<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/>

広島から平和を考える

世界で最初に原爆の被害を受けた広島市では、戦後被爆者の救済と市の再建に努力してきました。その成果の一つとして広島平和記念都市建設法の公布があげられます。この法律の第一条には「恒久の平和を誠実に実現しようとする平和の象徴として、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする」と記されています。この法律のもと、戦争の悲惨さを忘れないため、そして平和を世界に発信していくために様々な施設が整備されました。今回はその中のいくつかを紹介いたします。

原爆慰霊碑

広島平和記念公園

上記の法律の下で整備された施設の中心に当たります。アーチ型の屋根は犠牲者の魂を雨から守りたいという気持ちを表し、その中に安置された石棺には姓名の判明している被爆死亡者23万人の過去帳が収められています。



安らかに眠ってください
過ちは
繰り返しませぬから

石碑に刻まれたこの言葉の意図は「国籍を超えて、この碑の前にたつ全ての人間が、自国の問題、人類の一人として、二度と核戦争をしないと誓うこと」と解釈されています。

この慰霊碑の向こう側に灯されている「平和の灯」と「平和の池」の由来は知っていますか？「平和の池」には水を求めてやまなかった犠牲者を慰めようという想いが、「平和の灯」には核兵器廃絶と世界恒久平和への願いがこめられています。核兵器が地球上から姿を消す日までこの火は燃やし続けられます。

慰霊碑の正面に立つと、この原爆の灯、そして原爆ドームを直線状に見ることができるように設計がなされています。

原爆ドーム

広島平和記念公園

爆心地から160mにあったこの建物は原爆の投下により、建物は一瞬にして大破し、天井から火を吹いて全焼、中にいた人は全員死亡したと伝えられています。爆風がほとんど真上から働いたため、壁の一部は倒壊を免れ、ドームの鉄柱とともに象徴的な姿をさらしました。そして、その形からいつしか「原爆ドーム」と呼ばれるようになりました。

人類史上最初の原子爆弾による被爆の惨禍を伝える歴史の証人として、また核兵器廃絶と恒久平和を求める誓いのシンボルとして1996年ユネスコの世界遺産に登録されました。

被爆アオギリ

広島平和記念公園

爆心地から約1.3km離れた場所あったこの木は、爆心地方向にさえぎるものがなかったため、熱線と爆風をまともに受け、枝葉はすべてなくなり、幹は爆心側の半分が焼けてえぐられました。ところが、枯れ木同然だったこの木は、翌年の春になって芽吹き、人々に生きる勇気を与えました。その後、現在の場所へ移植され、枯死するのではないかと心配されましたが、その後も毎年種子をつけており、これらの種子は平和への想いを伝えるために国内外へ贈られています。



原爆の子の像

広島平和記念公園

2歳の時被爆し、10年後に白血病を発病して亡くなった佐々木禎子さん。その死に衝撃を受けた同級生たちが、「原爆で亡くなったすべての子どもたちのために慰霊碑をつくろう」と全国へ呼びかけ、全国3,100校余りの生徒と、イギリスをはじめ世界9か国からの支援により、完成しました。

ここには年間1千万羽以上の鶴が平和への願いと共に寄せられています(詳しくはMe~dia6参照)。



韓国人原爆犠牲者慰霊碑

広島平和記念公園

日本の日韓併合による朝鮮の植民地化は朝鮮の人々の生活を苦しいものにし、生活基盤を失った多くの人々は職を求め日本に渡らざるを得ませんでした。また、戦時中の労働力不足を補うため、強制連行や徴用によって多くの朝鮮人が日本で働かされていました。敗戦時、日本には約300万人の朝鮮人がおり、数万人が広島市内で被爆したといわれています。

碑は初め公園外に建てられていましたが、その後平和記念公園内への移設について各方面から強い要望が出され、たくさんの人々の募金により公園内に移設されました。

我が呪イヲ成就サセヨ。(ひろひー)
織姫と彦星を会わせてあげてください。一年に一度しか会えないのにそれすらも叶わないなんて可哀想です。(ひでっちょ)

被爆者の方のお話

「びかっと光り、7秒後に爆音が…」「街の方からケガをした人たちがやってきた。溶けた皮膚がベルトや爪に引っかかってたれ下がりお化けのよう…」。話をして下さったのは愛知県に住む75歳の男性の方。当時の様子を淡々と語って下さいましたが、その冷静さが逆に話の内容をリアルに頭の中に再現させてくれました。当時は食料も情報もない中でしたが、戦争が終わっていかに自由が大切か感じたそうです。現在でこそ、この方は海外にまで赴いて平和を訴える活動を行っていますが、最初は自分の体験を話すことはとても辛く、忘れようとしていたそうです。しかしその後、プルトニウム精製工場近くや砂漠での核実験などによる放射能による被害が世界中で起こるのを見て、「再び核兵器を使わせてはいけない」という想いととも活動をするようになったそうです。そして私たちに対しては、「歴史を知ってほしい」「街の人の、被爆者の、様々な人の話を聞こう」ということから平和活動は始まるんだよ、と話して下さいました。現在、この方のように歴史を風化させないために体験談を話していこうとする被爆者の方が多いいらっしゃるそうです。

お詫びと訂正

Me-dia6の「Peace Now! 21」に間違いがありました。見出しの原爆投下の日付が正しくは「1945年」のところが「1985年」と記載されておりました。この場で深くお詫びを申し上げますとともに、この記載を訂正させていただきます。ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。

Me-dia 編集部

Peace インタビュー at 広島平和記念公園

平和記念式典の行われた8月6日、広島平和記念公園を訪れた方々に平和についてインタビューを行いました。高校生、子供をつれた母親、外国人、被爆者の方のご家族、地元の方、熱心にスケッチをしていたお兄さん、妹のために鶴を供えにきたおばあさん、etc. 様々な方の話を聞くことができました。



▲地元のおじいちゃん、おばあちゃん。広島で戦争を経験。



▲インタビュー中。左の男の子は関東の大学からのPeace Now参加者です。

Q1 '核兵器'って必要ですか？

→ほとんどの人がいらないと回答。

- ・状況としてあってもしょうがない。
- ・傷つけるもの、不幸にするもの。
- ・悲劇を繰り返してはだめ。
- ・放射能は自然を破壊するから。
- ・核は平和解決の道具にはならない。
- ・争いの原因。
- ・いらないから。必要ない。
- ・戦争のためのものだから無いほうがいい。
- ・金がかかるからいらない。

→でもこんな回答も…。

- ・原爆のおかげで戦争が終わった。あって持つかかわなければよい。落とされたら負け。相手が持っていればもってよい。(広島在住、70代女性)
- ・なくすのは難しい。
- ・自分がどうこう言ってもしょうがない。

Q2 どうやって平和を未来に残しますか？

- ・若い人が今にあ合ったことを考えて行って欲しい。(60代女性)
- ・昔のほうが平和だった。今のほうが怖い。(60代男性)
- ・次の世代に伝えていく。(不明)
- ・子供にだけは最低限伝えたい。(20代女性)
- ・デモとかそこまでする必要はない。やりたいと思ったらやればよい。(30代男性)
- ・挨拶すること。まずは自分の周りが平和になるといい。(40代女性)
- ・伝えていくことが重要。(不明)
- ・まずは身近な人から理解を広げていく。(不明)
- ・軍備が必要。守るため。災害のため。(70代女性)

'平和'に関する面から見た広島はどんな場所？

～広島市に住んでいる方にはこんな質問もしました～

- ・8/6,15は登校日なのが普通。学校に行って平和について考えたりした。
- ・平和について考えたりすることがあたりまえのことになっている。
- ・広島は平和、被爆について発信する立場。
- ・小学校で平和学習をしていたころは興味なかったけど、今になって平和活動の重要性を感じる。
- ・他の地域の人よりも当たり前前に平和について考える時間がある。

私たちに何ができるんだろう・・・

「平和って何なんだろう」「平和のためになにかしたいけど、どうすればいいかわからない」。実際そういう気持ちを持つ人は多いと思います。ここには、そのきっかけとして明日からでも取り組みそうな事を紹介します。

歴史を学ぶ What happened?

こんなことが平和につながるんだ、と驚いた事の一つが「歴史を学ぶ」ということ。歴史を学ぶことは「そこで何が起こったかを知る」と同時に「なぜ、それが起こったか」を知ることにもつながります。知識はその物事に対してより多くの理解をしたり、「歴史を繰り返さないためにはどうすればよいか」と考えたりするときの役に立ちます。自分の考えを伝えるときの「説得力」にもなるのではないのでしょうか。

今回、私は広島へ行って見て、自分の知っていた事は本当に表面の表面に過ぎなかったんだなあということを感じました。さらに、可能ならば現地へ行ってみることをお勧めします。実物の持つ迫力はテレビや本から得るものとはモノが違います。ぜひ広島を訪れてみて下さい。

How do they feel it? 想いを知る

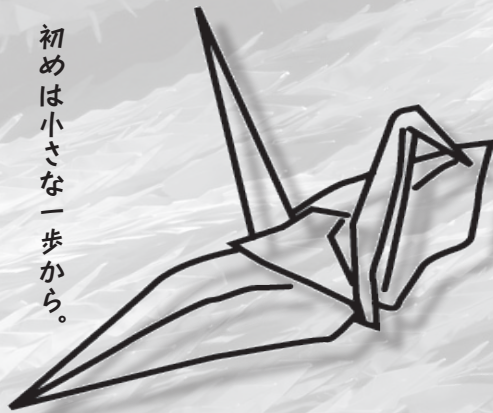
いろいろな人の話を聞いてみて下さい。実際に戦争を体験した人、友達や家族、外国の方、だれでもいいです。いろんな人の考え方に触れて見て下さい。一人一人、平和に対して様々な想いを持っています。意外な考え方に驚かされたり、自分と同じ考えを持つ人に出会って安心したり。ニュースで取りあげられていることを話題に挙げてみるだけでもよいと思います。みなさんはpeaceインタビューへの回答を読んで何を思いましたか？

身近なことから Let's start by can do it!

例えば、挨拶をしっかりと自分の周囲の人の輪を広げること、自分の子供にだけは戦争の悲惨さや平和の大事さを伝えていくこと、クラスで折り鶴を折ること、おばあちゃんの話聞いてみること。こんな些細なことでも世界から戦争を無くす事につながるとは言いませんが、少なくともあなたのきっかけ、あなたの周りの人へのきっかけにはなるのではないのでしょうか。いきなり無理して背伸びをする必要はないと思います。まずは、あなたができることから初めて見て下さい。

折り鶴を広島へ届けよう!!

初めは小さな一歩から。



広島平和記念公園にある原爆の子の像には毎年全国、世界中から平和への祈りを込めてたくさんの折り鶴が寄せられています（由来はMe~dia6参照）。今年も学生委員会では原爆の子の像へ集めた折り鶴を千羽鶴にして届けます。7月末まで生協店舗に折り紙と回収箱を設置する予定なので、ぜひ鶴を折ってみてください。

詳細は学生委員会webサイトにて
<http://sc.coop.nagoya-u.ac.jp/>

最後に読者のみなさんに質問です。

「あなたにとって“平和”とは何ですか？」

文責：のん

ちゃんと寿命をまっとうできますように。事故や病気で死にたくないよう。(ひっしい)
細身だけど引き締まった肉体を私に…。カミソリのような、という言葉が似合う肉体を私に…。それがダメなら、ゆっく
り寝ていられる休日を私に…。(もも)